

令和5年度 事業報告

令和 5年4月 1日から
令和 6年3月31日まで

公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会

目 次

I	現況	1
1	事業	1
2	役員等	1
3	評議員	1
4	顧問等	1
5	事務局	2
6	地区組織	2
7	事業資金	2
II	評議員会・理事会・幹事会等	3
1	評議員会	3
2	理事会	3
3	監事会	8
III	事業実施の概要	9
1	一般事業	9
2	普及事業	10
3	振興事業	11
4	助成事業	14
IV	届出・報告事項	19
V	附属明細書について	20

I 現況

1 事業

本会の定款に掲げる事業は、次のとおりである。

- (1) 団体の行う吟剣詩舞に関する協力および援助
- (2) 吟剣詩舞に関する研究
- (3) 指導者の養成ならびに研究会および講演会等の開催
- (4) 発表会およびコンクールの開催
- (5) 吟剣詩舞功労者の表彰
- (6) 会誌および図書の刊行
- (7) その他目的を達成するために必要な事業

2 役員等（令和6年3月31日現在）

代表理事

会 長（代表理事）	沼崎 富（星翁）
副会長	徳田良子（寿風）、早淵 肇（鯉將）
専務理事（代表理事）	池内賢二
理 事	久米信行、徳永洋子、武井涼子、吉田茂男（魁桜） 早淵淳子（河野鶴聲）、宮川 進（紫朋）、 妹尾桂子（藤上翔山）、安田幸代（水鈴） 入倉幸一（昭星）、藤本大輔（誠堂）、清水 一（錦洲） 福井美行（鈴木吟亮）、田中文夫（国臣） 淡谷節子（遠藤晃楓）、杉浦裕美（英容） 古川雅啓（壽泉）、伏尾画子（琵琶城） 高木法生（法洲）（理事 22名）
監 事	渡部行光、村尾秀夫（監事 2名）

3 評議員（令和6年3月31日現在）

加藤雅章、前田 晃、八代徹也、鷺野正明、
多田 満（正満）、八文字勝利（剛洲）、安永利一（江悠）、
原 真人（青柳芳寿朗）、田中健治（岳藤）、
山口英二（華雋）、横山信吾（精真）（評議員 11名）

4 顧問等（令和6年3月31日現在）

(1) 顧問	20名
(2) 元老	82名
(3) 参議	7名
(4) 代議員	64名
(5) 相談役	336名
(6) 参与	339名

5 事務局（令和6年3月31日現在）

所在地 東京都港区虎ノ門3-4-10 虎ノ門35森ビル7階
常勤役員1名、職員5名

6 地区組織

本会には50の公認都道府県吟剣詩舞道総連盟（以下「公認総連盟」）があり、それぞれの地区に以下の8つの地区連絡協議会（以下「地区連協」）を設けている。

（括弧内は公認総連盟名）

- （1）北海道地区連絡協議会（北海道中央）
- （2）東北地区連絡協議会（青森、秋田、岩手、山形、宮城、福島、新潟：7県）
- （3）東日本地区連絡協議会（栃木、群馬、茨城、千葉、埼玉、東京、神奈川、山梨：8都県）
- （4）中部地区連絡協議会（静岡、愛知、長野、富山、石川、福井、岐阜、三重：8県）
- （5）近畿地区連絡協議会（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山：6府県）
- （6）中国地区連絡協議会（岡山、広島、山口、鳥取、島根：5県）
- （7）四国地区連絡協議会（香川、愛媛、徳島、高知：4県）
- （8）九州地区連絡協議会（福岡、大分、佐賀、長崎、宮崎、熊本、鹿児島、沖縄：8県）

7 事業資金

本会の事業資金は、各種事業活動による事業収入、公益財団法人日本財団等からの助成金、寄附金による。

II 評議員会・理事会・監事会等

1 評議員会

(1) 第15回評議員会

決議日 令和5年6月23日(金)

開催場所 プロム赤坂溜池(港区赤坂1-5-14 橋本ビル2F)

決議事項

第1号議案 令和4年度事業報告及び決算報告の承認及び内閣府への報告書類提出に関する件

第2号議案 理事、監事選任に関する件

第3号議案 退任常務理事に対する退職慰労金の支払いに関する件

第4号議案 定款変更に関する件

報告事項

1. 遺贈の受け入れ及び支出について
2. 新しい少壮吟士選抜制度の現状について
3. 「吟剣詩舞道和歌集」編纂について
4. 第3回宗家会長会議の開催について
5. 動画(YouTube)について
6. 全国大会・コンクールの地方開催について
7. 月刊誌「吟剣詩舞」購読状況について

出席等 評議員数 出席 11名(評議員 11名中)

監事 出席 2名(監事 2名中)

理事 出席 3名

2 理事会

(1) 第37回理事会

決議日 令和5年5月11日(木)

開催場所 オンライン会議システムを使用して開催

決議事項

第1号議案 遺贈寄付の受け入れ及び支出について

報告事項

1. 業務執行状況について
2. 随意契約の締結について
3. 令和5年度 役員の改選について
4. 2023年度日本財団助成事業の契約締結について
5. 2021年度日本財団助成事業の監査結果のお知らせについて
6. 令和5年度 年間スケジュールについて
7. 令和5年度 吟剣詩舞大賞の推薦について
8. 令和5年度 夏季吟道大学の案内募集について
9. 第3回宗家・会長会議について
10. 全国少壮吟詠家選考審査会について
11. 事業収益の推移について
12. 月刊「吟剣詩舞」について
13. 令和6年度全国吟詠コンクールの変更について

14. その他（現役少壮吟士2名の退任の件、「よみがえる名吟集2」CD発売の件など）

出席等 理事 出席 22名、欠席 1名（理事 23名中）
監事 出席 2名（監事 2名中）

（2）第38回理事会

決議日 令和5年6月7日（水）

開催場所 日本財団ビル 会議室

決議事項

- 第1号議案 令和4年度事業報告及び決算報告の承認及び内閣府への報告書類提出に関する件
- 第2号議案 第15回評議員会の日時及び場所並びに評議員会の目的である事項の決定に関する件
- 第3号議案 理事・監事候補の選出に関する件
- 第4号議案 定款変更に関する件

報告事項

1. 業務執行状況について
2. 顧問等改選名簿の確認について
3. 月刊誌発送業者の選定について
4. 遺贈寄付贈呈式について
5. 令和5年度夏季吟道大学について
6. 吟剣詩舞道和歌集の編纂について
7. 令和6年度全国吟詠コンクールの変更について
8. 少壮吟詠家選考審査会の候補者選考について
9. 第54回全国吟剣詩舞道大会の開催地について
10. 月刊「吟剣詩舞」購読部数推移について
11. 令和5年度年会費徴収案内の発送について
12. 吟詠専門委員会よりお知らせ（全国吟詠コンクールの調和審査について）

出席等 理事 出席 18名、欠席 5名（理事 23名中）
監事 出席 2名（監事 2名中）

（3）第39回理事会

決議日 令和5年6月27日（火）

開催場所 オンライン会議システムを使用して開催

決議事項

- 第1号議案 代表理事、副会長、業務執行理事の選任に関する件
- 第2号議案 参議、代議員、顧問、元老、相談役、参与の選任に関する件
- 第3号議案 寄附金取扱規程の制定に関する件

報告事項

1. 業務執行状況について
2. 令和6年度全国吟詠コンクールの変更について
3. 夏季吟道大学について

4. 全国名流吟剣詩舞道大会（熊本）について
5. 第53回全国吟剣詩舞道大会（千葉）について
6. 少壮吟詠家選考審査会の進捗について
7. 高校総合文化祭鹿児島大会について
8. 令和5年度・6年度年間スケジュール等について
9. 全国大会・コンクールの地方開催について

出席等 理事 出席 18名、欠席 4名（理事 22名中）
 監事 出席 2名（監事 2名中）

（４）第４０回理事会

決議日 令和5年8月17日（木）

開催場所 オンライン会議システムを使用して開催

決議事項

第1号議案 元老の選任について

報告事項

1. 業務執行状況について
2. 役員定年年齢の改訂に関する検討について
3. 役員報酬の改定について
4. 令和5年度「全国剣詩舞コンクール」・「吟詠コンクール」について
5. 令和5年度「全国名流吟剣詩舞道大会」(熊本)について
6. 「第53回全国吟剣詩舞道大会」(千葉)について
7. 「第54回全国吟剣詩舞道大会」の開催について
8. 令和6年度「夏季吟道大学」開催日程の変更について
9. 令和5年度「全国高等学校総合文化祭」参加報告について
10. 令和5年度「吟剣詩舞大賞」候補者について
11. 「全国少壮吟詠家選考審査会」研修会について
12. 吟剣詩舞版タウンページ構想について
13. 財団本部の定期賃貸借契約について
14. 和歌集の編纂について
15. 徳永理事の書籍改訂版の出版について
16. 月刊「吟剣詩舞」について

出席等 理事 出席 18名、欠席 4名（理事 22名中）
 監事 出席 2名（監事 2名中）

(5) 第41回理事会

決議日 令和5年10月19日(木)

開催場所 オンライン会議システムを使用して開催

決議事項

第1号議案 職員退職金規程の改訂について

第2号議案 日本財団との基金事業の監査に関する覚書の締結について

第3号議案 財団本部の定期賃貸借契約について

報告事項

1. 業務執行状況について
2. 吟剣詩舞道伴奏集使用の徹底について
3. 第3回宗家会長会議について(再度依頼)
4. 役員定年年齢・会長の任期制限について
5. 全国吟詠コンクールにおける「調和」の扱いと普及への徹底について
6. 令和5年度「全国名流吟剣詩舞道大会」(熊本)について
7. 「第53回全国吟剣詩舞道大会」(千葉)について
8. 第37回 吟剣詩舞大賞受賞者について
9. 令和6年 日本財団への助成申請について
10. 今後の全国コンクールトロフィーの対応について
11. 和歌集の編纂について
12. 令和6年度伝統文化親子教室事業「統括実施型」募集について
13. 月刊「吟剣詩舞」について
14. その他

出席等 理事 出席 17名、欠席 5名(理事 22名中)

監事 出席 2名(監事 2名中)

(6) 第42回理事会

決議日 令和5年12月9日(土)

開催場所 市川市文化会館 大会議室(ローズルーム)(千葉県市川市大和田1-1-5)

決議事項

第1号議案 財団役員の追加選任について

第2号議案 「第54回全国吟詠剣詩舞道大会」(岡山)の合吟コンクールについて

報告事項

1. 業務執行状況について
2. 日本財団関連財団役員会議について
3. 第3回宗家・会長会議について
4. 役員定年年齢・会長の任期制限について
5. 全国吟詠コンクールにおける「調和」の扱いと普及への徹底について
6. 令和5年度「全国名流吟剣詩舞道大会」(熊本)について
7. 「第53回全国吟剣詩舞道大会」(千葉)について
8. 月刊「吟剣詩舞」について
9. その他

出席等 理事 出席 19名、欠席 3名（理事 22名中）
監事 出席 2名（監事 2名中）

（7）第43回理事会

決議日 令和6年2月1日（木）

開催場所 オンライン会議システムを使用して開催

決議事項

第1号議案 役員定年年齢・会長の任期制限について

報告事項

1. 業務執行状況について
2. 令和5年度全国名流吟剣詩舞道大会の収支と寄付金について
3. 第53回全国吟剣詩舞道大会の収支と寄付金について
4. 第3回宗家・会長会議について
5. 外部識者検討会（仮）の実施について
6. 令和5年度全国剣詩舞群舞コンクール決勝大会(愛知)について
7. 第54回全国吟剣詩舞道大会(岡山)について
8. 令和6年度・令和7年度年間スケジュールについて
9. 令和6年度役員会年間スケジュールについて
10. 令和6年能登半島地震災害に対する義援金の受付開始について
11. 月刊「吟剣詩舞」について
12. その他

出席等 理事 出席 20名、欠席 2名（理事 22名中）
監事 出席 2名（監事 2名中）

（8）第44回理事会

決議日 令和6年3月7日（木）

開催場所 オンライン会議システムを使用して開催

決議事項

第1号議案 令和6年度事業計画及び収支予算（案）及び付帯決議について

第2号議案 第16回評議員会の開催について

第3号議案 役員等の選考基準に関する規程の変更について（※第6条9. 参与④）

第4号議案 財団役員の追加選任について

報告事項

1. 日本財団からの令和6年度助成事業の内示について
2. 業務執行状況について
3. 吟剣詩舞普及事業基金の取崩について
4. 第1回少壮吟詠家選考審査会「審査会」の開催について
5. 令和6年度夏季吟道大学参加者の募集について
6. 第4期スーパーチームメンバー（吟詠・剣詩舞）の募集について
7. 第3期剣詩舞スーパーチームメンバーの決定について

8. 第2回(令和6年度)「少壮吟詠家選考審査会」候補者の募集について
9. 令和6年能登半島地震災害に対する義援金の入金状況について
10. 月刊「吟剣詩舞」について
11. その他

出席等	理事	出席 2 1 名、欠席 1 名（理事 2 2 名中）
	監事	出席 1 名、欠席 1 名（監事 2 名中）

3 監事会

(1) 令和4年度決算監事監査

決議日	令和5年6月6日（火）	
開催場所	日本吟剣詩舞振興会 会議室	
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事務局長挨拶 2. 事業概要報告 3. 決算報告 4. 監事による確認 5. 監事の押印 	
出欠	監査人として監事	2 名
	日本吟剣詩舞振興会	4 名

Ⅲ 事業実施の概要

1 一般事業

(1) 協力援助事業

a. 青少年育成に対する協力及び援助を行った。

① 全国高等学校総合文化祭・吟詠剣詩舞部門発表会に対する協力援助（鹿児島県）

青少年吟剣詩舞道育成基金運用の一環として、第47回全国高等学校総合文化祭「2023かごしま総文」吟詠剣詩舞部門に参加した学生及び引率者に対する旅費及び宿泊費の補助を行った。

開催日 令和5年7月31日（月）

場 所 薩摩川内市川内駅コンベンションセンター SSプラザせんだい（鹿児島県薩摩川内市）

出演者 200名（24都府県、70校より）

補助金 1,999,985円

② 青少年への吟剣詩舞育成推進のための協力援助

下記2件について、青少年育成推進のための協力援助を行った。

1) 令和5年度 岐阜県幼少青年吟詠剣詩舞発表大会

2) 第33回 栃木県青少年育成吟剣詩舞道大会

協力援助費 各100,000円（合計200,000円）

b. 傘下団体の行う行事に対する協力援助を行った。

傘下団体の行う吟剣詩舞に関する行事5件に対し、後援名義の貸与等の協力を行った。

(2) 研究開催事業

吟剣詩舞に関する専門委員会の開催を行った。

◎ 第47回吟詠専門委員会

開催日 令和5年9月17日（日）

場 所 日本教育会館 会議室（東京都千代田区一ツ橋2-6-2）

出席等 吟詠専門委員 出席 8名（8名中）

オブザーバー 3名 事務局 3名

◎ 第48回吟詠専門委員会

開催日 令和5年12月9日（土）

場 所 市川市文化会館 会議室（千葉県市川市大和田1-1-5）

出席等 吟詠専門委員 出席 7名（8名中）

オブザーバー 3名 事務局 4名

◎ 第49回吟詠専門委員会

開催日 令和6年3月9日（土）

場 所 高円寺北区民集会所（東京都杉並区高円寺北3-25-9）

出席等 吟詠専門委員 出席 7名（8名中）

オブザーバー 3名 事務局 4名

◎第58回剣詩舞専門委員会

開催日 令和5年9月23日(土)

場所 門真市民文化会館 ルミエールホール 会議室(大阪府門真市末広町29番1号)

出席等 剣詩舞専門委員 出席 8名(8名中)

オブザーバー 4名 事務局 3名

◎第59回剣詩舞専門委員会

開催日 令和6年2月10日(土)

場所 東海市芸術劇場 会議室(愛知県東海市大田町下浜田1016番地)

出席等 剣詩舞専門委員 出席 8名(8名中)

オブザーバー 3名 事務局 4名

(3) 功労者表彰事業

令和5年度吟剣詩舞大賞受賞者の選考並びに表彰を行った。

第37回吟剣詩舞大賞選考委員会を開催し、吟剣詩舞功労賞に次の5氏を選考し表彰した。

吟剣詩舞大賞	功労賞	小林 北鵬	吟詠家	・茨城県
〃	功労賞	臼井 寛洲	吟詠家	・長野県
〃	功労賞	山田 静将	吟詠家	・京都府
〃	功労賞	川原 霊宗	剣詩舞家	・香川県
〃	功労賞	笠井 栄俊	吟詠家	・福岡県

2 普及事業

(1) 広報活動事業

吟詠剣詩舞の周知宣伝のための広報活動

a.NHKラジオ・テレビ収録への協力

<ラジオ>

N H K F M

「邦楽のひととき」

放送日時：令和5年5月22日(月) 11時00分～11時25分(25分)

出演：巽吟城、菊野桜山、山中梅鈴子、野中秀宗、向山侑珠(放送順)

放送日時：令和5年8月29日(火) 11時00分～11時25分(25分)

出演：堤龍美、小池貴心、蒔田淳芽心、伊東響峰、浅田聖謙(放送順)

放送日時：令和5年11月27日(月) 11時00分～11時25分(25分)

出演：向山侑真、長谷川素采、林杏泉、牛島玲豊、今城龍栄(放送順)

放送日時：令和6年3月19日(火) 11時00分～11時25分(25分)

出演：米本耿泉、山岡桜山、猪木原凜泉、大森麗禎、前田卓霊(放送順)

「新春吟詠」

放送日時：令和6年1月2日（火）9時40分～9時55分（15分）

出演：塩澤宗鳳、安藤聖楓、星野紫栄、石川春海、林煌彩、浅田聖謙（放送順）

放送日時：令和6年1月4日（木）9時40分～9時55分（15分）

出演：宇井修光、土澤美岳、石川渾鳳、加藤契琵、大山宗鵬、堤龍美（放送順）

<テレビ>

NHK Eテレ

「吟詠・夏にうたう」

放送日時：令和5年6月25日（日）14時30分～14時45分（15分）

出演：米本耿泉、大山宗鵬、入倉昭鳳、山岡桜山、星野紫栄、石川渾鳳、
林煌彩（放送順）

「吟詠・新春を寿ぐ」

放送日時：令和6年1月1日（月・祝）7時35分～7時50分（15分）

出演：八代光晃子、中武玲星、向山侑珠、藤上翔山、山中梅鈴子、野嶋帆楓、
野中秀宗（放送順）

b.その他メディア関係への協力

フジテレビ系列めざましテレビ「キラビト！」

BSフジ「ごちそうさまのカタチ」

日本テレビ系列 ドラマ「セクシー田中さん」

CM「アイフル」

3 振興事業

（1）発表会開催事業

吟剣詩舞普及のための発表会を開催した。

a.「秋篠宮皇嗣妃総裁・恩賜財団母子愛育会奉賛

令和5年度全国名流吟剣詩舞道大会」の開催

開催日 令和5年11月19日（日）

場 所 熊本城ホール（熊本県熊本市中央区桜町3番40号）

来場者数 1,500人

参加者数 960人

後援 文化庁、熊本県、熊本県教育委員会、熊本市、熊本市教育委員会、
熊本県文化協会、熊本日日新聞社、NHK、熊本放送、テレビ熊本、
熊本県民テレビ、熊本朝日放送、FMK、FM791

奉賛等 社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会（奉賛金1,000,000円）

(2) 吟詠教本発行事業

吟詠統一教本(既刊図書)を作成配布した。

※()内は前年度販売実績

・吟剣詩舞道漢詩集(絶句編)解説書……………	47部	(100部)
・吟剣詩舞道漢詩集(律詩・古詩編)解説書……………	43部	(48部)
・吟剣詩舞道漢詩集(続絶句編)解説書……………	35部	(100部)
・吟剣詩舞道アクセント付漢詩集(絶句編)……………	153部	(223部)
・吟剣詩舞道アクセント付漢詩集(律詩・古詩編)……………	92部	(102部)
・吟剣詩舞道アクセント付漢詩集(続絶句編)……………	143部	(199部)
・幼少年向けテキスト『はじめての吟詠』……………	56部	(89部)

(3) 会報発行事業

吟剣詩舞に関する広報並びに情報誌として、月刊「吟剣詩舞」を発行した。

令和6年3月31日現在の有料発行部数は4,198部(昨年度4,533部)である。

(4) 教材領布事業

吟剣詩舞道吟詠集(CD、カセットテープ)の作成配布及び吟剣詩舞道伴奏集(同)の監修指定など、吟剣詩舞に関する教材の製作頒布並びに既刊教材の頒布促進を行った。

また、創立50周年記念の際に制作した名吟詠家の名作集CD「よみがえる名吟集」から5年経過し、「よみがえる名吟集2」の製作頒布を行った。

※()内は前年度販売実績

教材としての吟詠集の製作頒布数

・令和5年度吟剣詩舞道吟詠集CD……………	2,916本	(3,249本)
・よみがえる名吟集CD……………	8本	(19本)
・和歌新撰集「令和」CD……………	3本	(42本)
・よみがえる名吟集2CD……………	940本	(-本)

教材としての伴奏集の製作監修並びに振興会指定数

・吟剣詩舞道伴奏集CDの指定数……………	373本	(430本)
・吟剣詩舞道伴奏集テープの指定数……………	5本	(7本)
・続・吟剣詩舞道伴奏集CDの指定数……………	150本	(285本)
・続・吟剣詩舞道伴奏集テープの指定数……………	0本	(1本)

4 日本財団助成事業

(1) 事業名「吟剣詩舞の普及振興のための大会・コンクール・講習会の開催」

①全国吟剣詩舞道大会

目標

吟剣詩舞界最大の催しである「全国吟剣詩舞道大会」では、多くの吟剣詩舞愛好家が全国より集結し、「全国吟詠合吟コンクール」等が行われる。

達成状況

全国吟剣詩舞道大会については約10年ぶりに東京都以外での開催となったが、地元千葉県の役員と連携をとり、無事開催することができた。内容についてもコロナ禍が明けての初の大会ということで、全国の吟剣詩舞家が独自色を出す演目を行った。

「高松宮妃癌研究基金奉賛 第53回全国吟剣詩舞道大会」の開催

開催日	令和5年12月10日(日)
場所	市川市文化会館・大ホール(千葉県市川市大和田1-1-5)
来場者	1,500人
参加人数	1,103人
後援	文化庁、千葉県、日本財団、NHK
奉賛等	公益財団法人 高松宮妃癌研究基金 (奉賛金1,000,000円) 公益財団法人 笹川保健財団 (寄付金1,000,000円)

②コンクール

目標

吟詠、剣舞及び詩舞の技術及び芸術的向上の機会として、2023年度は、全国吟詠コンクールと全国剣詩舞コンクール、全国剣詩舞群舞コンクールを開催する。各コンクールでは、基本的な技術・表現力を適切に審査し公表することにより技量のレベルアップを図り、全国で活躍できる人材を発掘・育成する。コンクール終了後には、全国大会出場者を対象に属性を調査するためアンケート調査を実施する。また、少壮吟詠家選考審査会は、日本吟剣詩舞振興会認定の少壮吟士として吟界を牽引する人物を発掘する場としていきたい。

達成状況

吟詠・剣詩舞・剣詩舞群舞コンクールを吟剣詩舞道界最大のコンクールとして開催することにより、全国の吟詠家・剣詩舞家が日頃の研鑽の成果を競い合うことが可能となり、吟剣詩舞道界の発展と普及振興、さらには全体の技量向上の場を提供することができた。また、剣詩舞及び剣詩舞群舞コンクールはそれぞれ大阪・愛知と場所を変えての開催となったが、地元役員の手助けもありスムーズに行うことが出来た。少壮吟詠家審査コンクールに代わって開催された少壮吟詠家選考審査会では、少数精鋭の有望な若手吟詠家の育成と、日本吟剣詩舞振興会認定少壮吟士として吟界を牽引する人物の選抜を同時に行う形で実施し、今回2名の少壮吟士候補が誕生した。

a.令和5年度全国吟詠コンクール決勝大会

開催日：令和5年9月18日（月・祝）

場 所：日本教育会館（東京都千代田区）

参加人数：153人（延べ人数）

b.令和5年度全国剣詩舞コンクール決勝大会

開催日：令和5年9月24日（日）

場 所：門真市文化会館（大阪府門真市）

参加人数：128人

c.令和5年度全国剣詩舞群舞コンクール決勝大会

開催日：令和6年2月11日（日）

場 所：東海市芸術劇場（愛知県東海市）

参加人数：180人

d.少壮吟詠家選考審査会

1) 少壮吟士準候補研修会

開催日：令和5年8月19日（土）

場 所：ミキジ明石町ビル（東京都中央区）

参加人数：18人

2) 少壮吟詠家選考審査会

開催日：令和6年3月10日（日）

場 所：梅若能楽学院会館（東京都中野区）

参加人数：18人

③講習会

目標

指導者の育成を目的として行われる夏季吟道大学及び吟界を代表する少壮吟士の実力向上を目的に行われる少壮吟士夏季特別研修会は、合宿形式で行われるため、感染症予防に注意し安全に実施したい。

達成状況

夏季吟道大学を開催することにより、全国の吟詠及び剣詩舞指導者の育成を進めることができ、また参加者同士の横のつながりを生み出すことにより地方での吟剣詩舞活動の活性化の一助となった。また、少壮吟詠家夏季特別研修会を通じて、日本吟剣詩舞振興会が認定する少壮吟士の技能向上と少壮吟士としての役割の理解を深め、心構えを養うことができた。

a.令和5年度夏季吟道大学の開催

開催日：令和5年7月15日（土）～16（日）

場 所：勤労青少年水上スポーツセンター（愛知県碧南市）

参加人数：40人

b.令和5年度少壮吟士夏季特別研修会の開催

開催日：令和5年8月26日（土）～27（日）

場 所：勤労青少年水上スポーツセンター（愛知県碧南市）

参加人数：45人

④次年度開催準備

目標

事前に会場経費を支払うことにより、翌年度開催の大会やコンクールの円滑な事業推進の一助とする。

進行状況

令和6年度開催事業に利用する会場を令和5年度中に確保するため、会場費の前金支払い等の準備を行った。

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| a.第54回全国吟剣詩舞道大会の開催準備 | 令和6年11月10日（日） |
| b.令和6年度全国吟詠コンクール決勝大会の開催準備 | 令和6年 9月16日（月・祝） |
| c.令和6年度全国剣詩舞コンクール決勝大会の開催準備 | 令和6年 9月23日（月・祝） |
| d.少壮吟詠家選考審査会 | |
| 1）少壮吟士準候補研修会の準備 | 令和6年 8月17日（土） |
| 2）少壮吟詠家選考審査会の準備 | 令和7年 3月 9日（日） |

事業費総額及び助成金等

事業費総額	35,960,040円
助成金	35,960,000円
自己負担分	40円

(2) 事業名「吟剣詩舞の普及振興のための調査研究」

① 公式ウェブサイトの開発等インターネットを利用した吟剣詩舞の広報の促進

目標

公式Webサイトや、YouTube、Twitter、Facebook等のSNSを通して、開催した講習会の模様など、常に新しい情報を発信するほか、地方からの活動状況も吸い上げ、エリアや時間を超えて、吟剣詩舞道に広く親しみ、学べるツールとしての役割も担う。

達成状況

- ・ホームページにて、全国大会および各種コンクールの開催告知と入賞結果報告、YouTubeライブの告知、TV出演情報、ドラマ作品への協力、など多岐にわたる情報更新を行った。
- ・X（旧：Twitter）およびInstagramなどでも、大会開催中の様子、メディア（NHKなど）に出演時の写真をあわせて発信した。
- ・月刊誌にて、各地の大会開催情報のほか、開催後に大会の様子などの写真と文章を募り、紹介するコーナーが好評で、今年度は82件掲載した。また、スーパーチームの活動状況や、YouTube番組についても掲載し、広く展開している。

② 各地区連絡協議会との意見交換会の開催

目標

各地区連絡協議会が置かれている現状を理解するため各地区との意見交換会を適宜開催する。

達成状況

全国大会およびコンクール等を開催する地区にて、打合せを兼ねて行い、交流を重ねられたことで、大会等イベントの進行上、双方で少なからず心理的な距離が縮まった状態で開催できたと考え。反省点として、当会で開催する大会やコンクールが開催される場所や、活動が盛んな地域へ行く機会が多いこともあり、偏りが出てしまうため、今後の課題としたい。

開催日	場 所	内 容
1) 2023年 4月30日	(九州地区)	名流大会打合せ他、大分県総連の少壮（2名）について相談など
2) 2023年 6月11日	(東北地区)	東北地区連絡協議会会議に参加
3) 2023年 7月21日	(近畿地区)	門真（剣詩舞コンクール決勝）打合せ、京都剣舞シアター見学など
4) 2023年 7月30日	(九州地区)	2023かごしま総文参加および名流大会の打合せ
5) 2023年 9月10日	(近畿地区)	京都府詩吟連盟創立60周年記念 京都府総連盟45周年記念
6) 2023年10月 5日	(近畿地区)	京都 二条城 ART KYOTO レセプション（動画撮影立ち合い）
7) 2023年10月15日	(九州地区)	熊本県総連打合せ、名流大会打合せ
8) 2023年10月28日	(近畿地区)	関西吟詩文化協会記念大会 出席
9) 2023年11月 5日	(近畿地区)	大阪府総連45周年記念大会 出席
10) 2023年11月19日	(九州地区)	名流大会

③ 宗家・会長会議の開催

目標

評議員や理事会等の役員以外で、集う機会のない各地区の宗家や会長との交流・意見交換の場として、宗家・会長会議を開催する。

達成状況

昨年度の反省点（テーマを設けずに意見交換）を活かし、今回は事前に参加者へ「業界活性化」というテーマをお知らせしたところ、資料を作っていたいただいた方々もいた。また、参加者同士で自然と質疑応答する場面もあり、参加者が地元に戻って活かせる、実りある意見交換ができたと考える。

開催日：令和6年1月18日（木）

場所：日本財団 第1・2・3・4会議室（東京都港区）

参加人数：24人

④ 吟詠・剣詩舞スーパーチーム研修会の開催

目標

吟剣詩舞道界の花形として、将来有望な若手吟剣詩舞道家により結成された「吟詠・剣詩舞スーパーチーム」の技術向上を図る

達成状況

以下、2回の研修会を開催した。

開催日：1) 令和5年10月7日（土） 2) 令和5年11月4日（土）

場所：1) 愛知県岡崎市 2) 兵庫県神戸市

参加者：1) 19名 2) 10名

- 1) 10月7日（土）（愛知県岡崎市）7名の指導者（補助含め）による合同稽古。まず、吟詠と剣詩舞に分かれ、それぞれ基礎稽古を行ったあと、国民文化祭と名流大会のフォーメーションで合同稽古。
- 2) 11月4日（土）（兵庫県神戸市）剣詩舞チームの稽古。剣詩舞専門委員長1名にて指導を行った。（演目：Passion、川中島の戦い、Fantasy、光芒）

⑤ 新吟詠集（和歌編）の編纂

目標

日本人に親しみのある「和歌」をテーマとした、「吟剣詩舞道和歌集」の制作を行い、吟剣詩舞道人口の拡大を目指す。

達成状況

和歌100首の解説・監修については、15名の大学教授や講師、研究員の方々にご担当いただいた。アクセントについて、吟詠専門委員会にて確認し、令和6年8～9月の出版を目指す。

事業費総額及び助成金等

事業費総額	81,343,032円
助成金	81,260,000円
自己負担分	83,032円

IV 届出・報告事項

令和5年6月29日

- ・令和4年度事業報告等の提出（内閣府）

令和5年10月20日

- ・変更の届出（定款の変更）（内閣府）

令和6年3月28日

- ・令和6年度事業計画書等の提出（内閣府）

V 附属明細書について

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定される附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和6年6月
公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会